

きゅうりの需給動向について

きゅうりの需給動向について

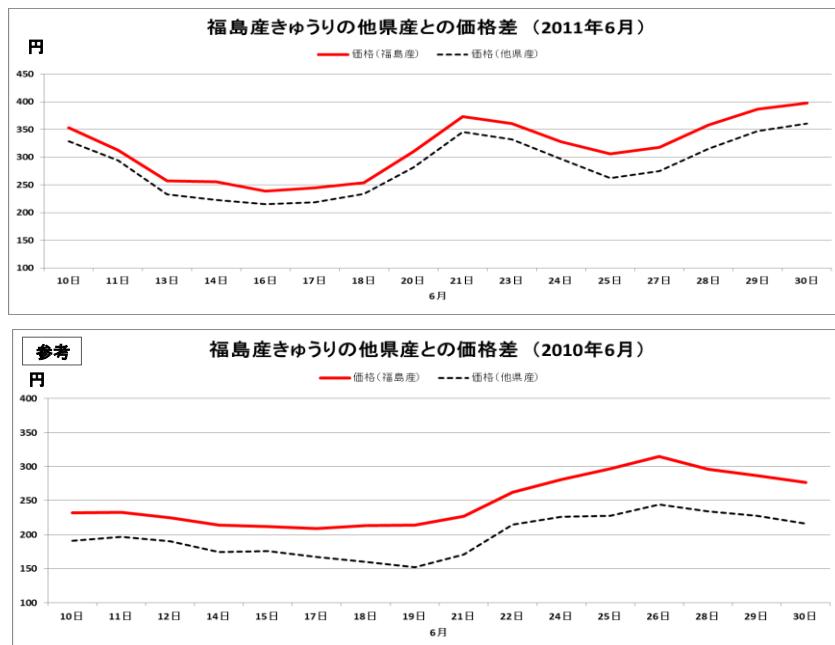
きゅうりは、これから東日本大震災で被害を受けた東北産、特に福島産を中心とした出荷が本格化する。

福島産の野菜はこれまで風評被害の影響で県外に出荷することが難しい状況となっていたが、きゅうりは6月から徐々に県外への出荷が増え平年並みに近づいてきている。今後は平年並みの天候が見込まれていることから、安定した入荷量になると思われる。

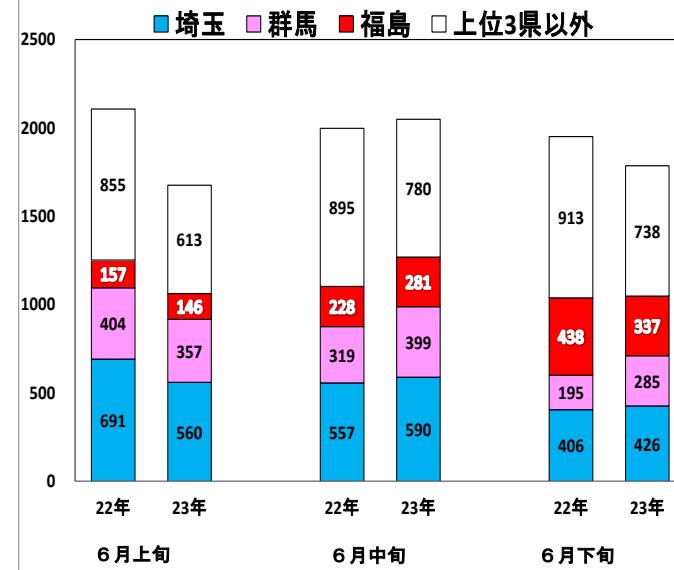
価格については、例年この時期の福島産は他産地より高値で取引されるが今年は昨年に比べると価格差が小さいものの、他県産よりも1割程度高値で取引されている。

今後とも、的確な情報に即した販売が求められるとともに、被災産地への支援のためにも、消費拡大に努めることが重要と考えられる。

東京都中央卸売市場における福島産のきゅうりの価格と入荷量比



きゅうりの産地別旬別入荷量比較(対前年同月)



資料：「ベジ探」、原資料：農林水産省「青果物日別取扱高統計結果」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜需給・価格レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01_000076.html